

山口県教育委員会会議録

日時：平成27年7月23日 午後3時30分
 場所：山口県教育庁教育委員会室

| | |
|-----------|---|
| 教 育 長 | <p>それではただ今から平成27年7月の教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>はじめに、本日の会議から新たに委員となられた石本委員さんに出席いただいておりますので、最初に一言ご挨拶を頂きたいと思っております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> |
| 石 本 委 員 | <p>下関市から来ました石本美香代です。小児科医をしています。下関市の、かねはら小児科に勤めております。</p> <p>初めての教育の場で、緊張しています。不慣れな事も多いかと思っておりますけれども、一生懸命勉強していきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いいたします。</p> |
| 教 育 長 | <p>ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の署名委員の指名を行います。</p> <p>岡野委員さんとそれから中田委員さん、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、報告事項1について教職員課から説明をお願いします。</p> |
| 教 職 員 課 長 | <p>それではお手元の資料の2ページをご覧ください。</p> <p>平成28年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験の第一次試験についてご報告をいたします。</p> <p>今年度の第一次試験は、1にお示ししておりますとおり、去る7月18日、19日に、山口会場及び東京会場におきまして、2に示す試験内容で実施を致しました。</p> <p>3の受験状況でございますが、全体では(1)のとおり、Aにお示ししております採用見込者数415人に対し、Bの志願者数は1,580人でございました。</p> <p>次の、C第一次試験免除者でございますけれども、下の※印にお示しておりますように、昨年の選考試験の第二次試験で不合格になった者のうち、総合評価ランクが上位にあった者、及び、他県における本採用教員で3年以上の勤務経験を有する者162人につきまして、第一次試験を免除しております。</p> <p>Dにお示ししております試験当日の欠席者でございますが、105人ありましたので、第一次試験の受験者Eは、志願者数から第一次試験免除者数及び欠席者数を除いた1,313人でございました。これに第一次試験免除者162人を加えた一番下の1,475人、これが試験受験者数ということになります。</p> <p>次に、(2)の選考区分・志願区分別受験状況については、次のページの受験状況資料を御覧ください。今までに説明した数値について、選考区分・志願区分ごとに(1)の表にお示ししておりますところでございます。</p> <p>右から2列目の一番下の数字1,475人が先程説明したとおり受験者数でございますが、これを採用見込者数415人で割った数字が一番右の列の試験倍率となります。今年度は全体で3.6倍となっております。各区分の倍率は表にお示ししておりますとおりでございます。</p> <p>次に、特別選考の受験状況について、その下の(2)の表にお示しております。社会人特別選考は14人、スポーツ・芸術特別選考は22人、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考が27人、看護科教諭特別選考は2人がそれぞれ受験しております。今年度は博士号取得者特</p> |

| | |
|------------------|--|
| <p>教 育 長</p> | <p>別選考については、志願者はおりませんでした。 前のページに戻っていただきまして、4を御覧ください。(1)のとおり第一次試験の結果につきましては、8月11日に発表することとしております。 また、選考試験の透明性の確保等を目的といたしまして、(2)にお示ししておりますとおり、7月28日に試験問題と解答例を公開することとしております。 最後に、第二次試験につきましては、5にお示ししておりますとおり8月22日から県内4会場におきまして集団面接や個人面接などを実施することとしております。以上、第一次試験について御報告をさせていただきます。</p> <p>ただいま教職員課から報告事項1について報告がありましたが、何か御質問・御意見等ありましたら、どうぞお願いします。 採用見込者数が増える中で、志願者数がなかなか変わらないということで倍率が上がらないという、苦しい状況ではありますけれども、なんとか教員を確保しなきゃいけないということで頑張っておりますが、特に小学校あたりの倍率が低いということでかなり厳しい状況になっていると思います。いかがでしょうか。</p> |
| <p>山 縣 委 員</p> | <p>今度第二次試験が8月にある中で、面接とか小論文がありますよね。 教員採用見込者数は増えているのですが、志願者数が減ってきているという中で倍率は今年だけじゃなく、去年も、一昨年も下がっている状況です。 それはそれとして、いわゆる志と言いますか、教育というものに対する情熱は面接である程度は分かることもあると思います。教育に対する情熱と、それからいわゆる一般的な社会常識と言いましょか、そういった方を面接で選んでいただきたいなと思いました。</p> |
| <p>教 職 員 課 長</p> | <p>御意見ありがとうございます。採用選考試験におきましては、以前申し上げましたとおり山口県が求める教師像、これに沿った選考を実施しております。 その中で教育的愛情というものがありますし、教員としての使命感・倫理感ということがございますので、面接におきましてはその辺のトータルな視点により選考を実施しているところでございます。今後も委員がおっしゃったように、我々も気をつけて採用試験、それから選考の方法を考えていきたいと考えております。</p> |
| <p>教 育 長</p> | <p>よろしいでしょうか。 それではこの件につきましては、報告のとおり承りたいと思います。 それでは続きまして、報告事項2につきまして高校教育課から説明をお願いします。</p> |
| <p>高校教育課長</p> | <p>それでは報告事項2の主権者教育について、このたびの県議会の質問にも取り上げられました柳井高校の授業等について御報告をいたします。 。お手元の資料の4ページをお開きください。 今回取り上げられた授業は1～3にございますように、今月24日に2年生を対象に行われた現代社会であります。 テーマを「安保法制を題材とした主権者教育」として、5にお示しをしておるよう、「グループワークを通して思考力や判断力など、自らの考えを深める力を培う」、「グループでの発表や全体での発表を通し</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>て表現力を身に付ける」、そして、「公職選挙法の改正に伴い高校生の主権者意識を高める」ということをねらいとしたものでございました。</p> <p>次に、授業の内容、展開についてですが、前の時間に資料として配布した新聞の記事を読んで、生徒一人ひとりが自分の考えをまとめ、その各自がまとめた自分の考えを持ち寄ってグループワークを行いました。</p> <p>そのグループワークでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の時間に書いた自分の考えをグループ内で発表 ・各自が発表した内容を基にしてグループの意見のまとめを行う ・各グループの代表がクラス全体に対して発表をする ・各グループの代表の発表を聞いて、最も説得力のある発表に対して投票 <p>を行ったところであります。</p> <p>こうした中、今月3日の県議会の一般質問におきまして、「今回県立高校で行われた授業のやり方について県教委はどのような認識をお持ちなのか、また、今後選挙権年齢の引き下げを踏まえた主権者教育をどのように進め、その中で政治的な中立性を如何に確保していくお考えか」とのお尋ねがありましたので、教育長は、</p> <p>「柳井高校の事例は論議や発表を中心として授業を展開し、生徒の社会的事象への興味・関心を高める目的で実施したものであるが、そのテーマの全体像や様々な背景を生徒に理解させるための多様な資料の提供ができていなかったことや、説得力のある発表に投票させたことが結果的に賛否を問う形になってしまったこと、学校としての指導方針が明確になっていなかったことなどから配慮が不足していたと考えていること、また県教委としても、選挙権年齢の引き下げに伴い早急に主権者教育の充実を図っていく必要がある中で、主権者教育の進め方について学校に対する指導が不十分であったと考えていることから、積極的に主権者教育を進めるために学校任せにするのではなく県教委が責任をもって新たな指針を示すとともに教職員研修等を通じて指導を図っていく」と答弁をしたところであります。</p> <p>さらに6日に開催されました文教警察委員会においても、当該授業に関連する御質問がありましたので、7の二つ目の○にあるような答弁を私から申し上げたところでございます。</p> <p>最後に8の「今後の対応」についてでございますが、積極的に主権者教育を進めるために、国が発行します主権者教育に関する副教材や通知なども踏まえながら新たな指針をなるべく早く作成するとともに、教職員研修等により指導の充実を図ってまいりたいと考えているところであります。以上、御報告を申し上げます。</p> <p>教 育 長 ただいま高校教育課から報告事項2について説明がありましたけれども、御意見御質問がありましたらお願いします。</p> <p>山 縣 委 員 新たな指針を作成するという今後の対応となっておりますが、どのような指針になりますか。</p> <p>高校教育課長 先ほどもちょっと申し上げましたけれども、今年の秋にも国から通知や副教材を出されると聞いております。そうした国の通知や副教材の内容をしっかりと踏まえてですね、例えば政治的中立性の確保、授業の進め方や適切な資料の取扱い、校内の指導方針の確立などの内容を盛り込んでいきたいというふうに考えているところでございます。</p> <p>岡 野 委 員 学校でこういう授業が行われたというのは、ちょうど18歳から選挙権の行使が、子ども達もできるようになったというわけですね。</p> |
|--|--|

| | |
|----------------|--|
| | <p>若い人の政治に対する関心というのは、とても薄いという話も出ていますから、そういった中でこういった授業というのは、私は良かったと思うんです。</p> <p>内容云々は別にして、やり方は問題があるかもしれませんが関心を持たせるということについてはとても良いなど。</p> <p>内容はこれから皆で検討されればよいと思いますし、悪い面ばかりが、皆さんマイナス、マイナスと言われていますが、それが一つのたたき台になって、どのように今から良い形の教育に持っていけば良いかというのを考える一つの視点というか、出発点というか、そういった捉え方をしていけばとても良い授業ができるようになるのではないかと、その良い授業をするためには、県教委がどのように取り組んでいったらいいかということの問題提起していただいたので、皆さんこれを踏まえてしっかり考えて、子ども達に正しい教育をするように皆で考えていく良いきっかけができたのではないかなと私は思いました。</p> <p>教育長さんもいろいろ答弁なさっていて、問題もたくさんあったかもしれませんが、それもまた、私たちは内容を知らなかったら考えることもなかったかもしれませんから、とても良いことだと思います。</p> <p>指針ができて、国の方からいろんな指示があって、それに合わせていくというお話がありましたが、山口県は教育の県ですから、山口県なりのカラーが出せるような指針をきちんと出していただきたい。</p> <p>私はどんな指針ができるか、今からとても楽しみにしておりますし、その指針もあまりきつい縛りではなくて、先生方が授業をやりやすいような、子ども達がしっかりものを考えることができるようなそういった形の指針を作っていただくように、是非お願いしたいなと思って、あの新聞記事などを読ませていただきました。</p> |
| <p>高校教育課長</p> | <p>委員御指摘のように、高校生の社会参加意識というものを喚起して、主権者としての資質能力を高めていくことが非常に重要であると考えております。そのためにも今後、新たな指針を作りまして、各学校において、現場が安心して主権者教育を進められる、そういった形の指針を作ってまいりたいと考えておりますし、その中に今の視点も盛り込んでいきたいと考えております。</p> |
| <p>山 縣 委 員</p> | <p>今の岡野委員さんの意見に私も賛成なのですが、高校時代を思い出しまして、文化祭の行事としてディベート大会というのをやりました。賛成か反対かというのをやるわけですが、それでクラスから何人か出て、最終的にうちが優勝したものだから記憶に残っているのですが、非常に良い勉強になったと思っております。</p> <p>主権者教育も非常に良いと思うので、大いにやっていただいたら良いと思うのですが、いわゆる教育の中立性というのかな、それだけは保たなければいけないのではないかという気はしております。</p> <p>例えば私なんか、教育委員を7年やって、あと1年足らずですが、その期間中は、例えばある政党の方から後援会長になってもらいたいという話もあります。それはもちろん全部お断りして、もちろん先方もすぐ納得されて、「教育委員の期間中はだめですね」というような話です。なりいくわけで、これはやはり一つの常識として持つておかなければならないという気がしておりますし、学校内においても必要なことだろうと、私は思います。</p> |
| <p>岡 野 委 員</p> | <p>ちょっといいですか。的外れかもしれませんがけれども。情報をたくさん得てということで、今回2社でしたよね、新聞社が。その情報でやっていましたが、公民館とかにはいろんな新聞社の新聞</p> |

| | |
|----------------|---|
| <p>高校教育課長</p> | <p>が置いてありますよね。ああいうのは、学校には置いてあるのですか。子ども達がいろんな新聞の記事を見ることができるのかと、ちょっと思ったので。</p> <p>各学校においては主に図書室等で閲覧できるように、生徒が新聞等に触れられる形はとっております。何社の新聞を置いているかということは、各学校の状況によって違うと思います。</p> |
| <p>宮 部 委 員</p> | <p>新たな指針ができるということなのですが、それについては、それぞれの学校が主体的に進められるような方向でお願いしたいと思います。こうしなさいというのではなくて、先ほどありましたが、緩やかなとかいろいろありましたが、ガイドラインはあるでしょうが、主体的に進めるのは現場であってですね、そのあたりはよろしくお願ひしたいと思います。</p> |
| <p>高校教育課長</p> | <p>指針につきましては先ほども申しましたように、各学校において現場が本当に安心して主権者教育を進められる、そういった内容にしたいというふうに考えております。</p> |
| <p>石 本 委 員</p> | <p>今の形で選挙権がもらえるのですが、そのときに、今のように皆さんが意識をもって選挙に向かっているかということを考えれば、18歳になったのを機会に、勉強という形の中でも、こういった形で選挙が行われるのか、選挙の仕方はこうしたらよいのだ、ということを経験で学べるということは、とてもありがたいことだと私は思います。</p> <p>自分の経験なのですが、20歳で大学に通っていましたが、皆で選挙に対しての勉強ができるという場は全くなかったですし、選挙権をもらったところで投票整理券が家にきた感じで、突然投票に行って、自分が考えた中だけでやってしまったことが思い出されます。</p> <p>それを広く、このような考え方もあるというのを頭の中で整理して実際に選挙に行ったかということ、それはほとんどないです。今回、18歳では高校に行かれていますお子さんがほとんどだと思いますが、皆さんがそういう教育を平等に受けられるということは、とてもありがたいことだと思います。</p> <p>これをきっかけに高校で検討する場はまだまだ必要かと思いますが、そういう状況の中であっても、一旦考える機会を高校生が与えられたということはとても良いことだと私は思います。</p> |
| <p>中 田 委 員</p> | <p>新しいことはないのですが、私は今回の報道、そして資料を読ませていただいて、十分な資料が与えられたかという観点で見ると、やはりちょっとこれは十分ではなかったと、新聞も大手の新聞が何社かはあるというのが分かっているわけですから、それくらいの配慮はあってよかったのではないかなと一つは思います。</p> <p>もう一つですが、小学校から高校までの多くの授業というのは、例えば、英語であるとか、数学であるとか、国語であるとかですね、これが正しいのだというものを求めて、大部分の授業というのは、回答があるような勉強を教わるわけですね。</p> <p>字はこう書くんですよ、こういう意味ですよ、あるいは数学のこの問題はこうやって解くんですよ、誰がやっても標準的なプロセスを経れば結論に至る、その結論がだいたい同じになるというような授業が大部分の授業だと思うんですね。</p> <p>それが高校生になって、社会に関する授業になると必ずしも皆が同じ結論に至らない。同じ情報を与えられても、考え方によってはAになっ</p> |

| | |
|-------------------|--|
| <p>教 育 長</p> | <p>たりBになったりする可能性がある。今回の授業のやり方としては、結論を出していかないといけないということが、この先生の場合には働いたのではないかなと思うんですね。</p> <p>それは一般的な小中高の授業の大部分は結論を出すのだと、何が正しいのかということを目的にする授業が多いですから。けれども、今回の社会の授業に関しては、多分正しいというようなものは、非常に多様であって、考え方によってはこちらなのだ、人によって判断が違うというような結論が出る可能性が高いですね。</p> <p>やはり、こういう授業もあるのだという意識ですよ。社会人になって社会に出ると皆さん経験で、世の中のことはそんなに単純ではなくて皆が同じ生き方、結論が出るような事態に直面しているわけではないということを経験で勉強するのですが、授業の中にもこういうものが入っているのだと、社会の入り口ですよ、そういうものをたまたまこういう報道があったので、私もそういうことなのだということに気づかせていただきました。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今回の件につきましては、多方面から様々な御意見をいただいているところでございますけれども、議会でもお話をしましたように、このたびの公職選挙法の改正に伴う選挙権年齢の改正に伴いまして、18歳の若者が有権者としての自覚を持って政治への興味関心を高めて、実際に選挙に当たってはしっかりと自分の考え方、あるいは意見でこれに臨んで、若者の意見が政治にしっかりと反映される、それが大切であると考えております。</p> <p>従って、政治的な中立性を確保しながら高校における主権者教育を一層充実していくことが急務であると考えているところであります。</p> <p>私どもとしましては、子ども達が本当に良識ある公民として必要な能力と態度を身に付けることができるよう引き続き努めてまいりますので、御理解と御協力をいただきますよう、よろしくお願いをいたします。</p> <p>それでは皆さん方から御意見をいただいたところでございますので、この件につきましては、報告のとおり承りたいというふうに思います。</p> <p>それでは、報告事項の3につきまして社会教育・文化財課から説明をお願いします。</p> |
| <p>社会教育・文化財課長</p> | <p>世界遺産登録についてご報告を申し上げます。資料の5ページでございます。</p> <p>ご存じのこととはございますけれども、さきにドイツのボンで開催されましたユネスコ世界遺産委員会におきまして、萩市の5資産を含みます「明治日本の産業革命遺産」が国内で19件目、本県では初となります世界遺産に登録をされました。</p> <p>「明治日本の産業革命遺産」につきましては、幕末から明治にかけてのわずか半世紀という短い期間に、重工業分野の西洋技術が移転され、日本の伝統文化と融合して産業化を成し遂げるという産業国家形成の過程を時系列に沿って示すものでございまして、8県11市に及ぶ23の資産により構成されています。</p> <p>その一連の遺産群を見ますと、初期の発展段階に位置づけられる萩市の5つの資産は、幕末に試行錯誤を繰り返しながら西洋技術を取り入れ、産業化や産業文化形成の舞台となった地域社会の全体像と特徴を現在に伝えるものでございます。</p> <p>今後は、人類共通の財産として世界に認められましたこの5つの資産を次世代にしっかりと引き継ぐことができますよう、萩市等が行います管理保全に対しまして支援を行いますとともに、「明治日本の産業革命</p> |

| | |
|----------------|---|
| <p>教 育 長</p> | <p>遺産」の個々の資産や全体のストーリーに対する理解が深まりますよう国や関係自治体と連携して、国の内外に向けた情報発信等に努めていきたいと考えています。以上です。</p> <p>ただいま社会教育・文化財課から報告事項3について説明がありましたが、御意見、御質問ありましたらお願いをしたいと思います。</p> <p>先般、萩市で開かれましたシンポジウムに参加された方もいらっしゃると思いますが、何か御意見がございましたらお願いします。</p> |
| <p>岡 野 委 員</p> | <p>世界遺産に登録をさせていただきまして、私ども萩市民としましては大変喜んでおります。ありがとうございました。</p> <p>遺産というものがたくさん建物とかそういったものでは大したことないかもしれませんが、萩の松陰先生を中心とした人物を、産業遺産に関わる、明治維新に関わるための、日本が明治維新においてこれだけ素晴らしい国を作るため人材を育成し、それを送り出すことができたということが、私たち萩市民としてはとっても誇りに思っていますし、そういったことが一番核になって今回のこういった中に入れていただいたんじゃないかと思いつながりながら聞かせて頂きました。</p> <p>それを聞きながら、やっぱり山口県教育の、現在の人材育成にもつながってくるのではないかと思いますので、ぜひ、今の若い人たちに素晴らしい教育をしていただいて、山口県の出身者はすごいねっていうふうな、次の時代にまた皆さんに認めていただけるようなひとづくりを、一緒に、教育委員会と一緒にさせていただくといいなと思いつながりながら、世界遺産シンポジウムに出席させていただきました。</p> <p>萩市民もそれほど最初は盛り上がっていませんでしたけれども、もう遺産になった以上は、今度は一丸となってこの遺産を残すために今出発したばかりです。今から一番大きな、私たちは動かなければいけないことが市民としてもそこにたくさんございますから、そういった意味では、これからどのようにしてこの遺産を次の世代へつなげることができるかっていうのを皆で一生懸命やっという盛り上がり、今とてもできておりますので、観光とかいうのはその二の次ですから、その前に遺産をきちんと次の世代に移す、そして、どういった意味でこの遺産が登録していただくことができたのかっていうことをこれから伝えていくことが、萩市民の、私たちの仕事だと思っておりますので、そういったお仕事をいただきましたので感謝をしております。</p> <p>一生懸命やらせていただくと思いますし、県と一緒にやらせて頂くとても嬉しく思いますので、またいろんな面でサポートしていただけたらと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>萩市長がボンに行きましたけれども、ボンで盆と正月をいっぺんに迎えることが出来た気分、とても現在は幸せであるということを一言コメントがございまして。それが我々はとても頭のなかに残っております。ボンで本当にいいことができましたとご報告いただきましたけれども、まずはお礼申し上げます、これから一生懸命頑張らせて頂きます。ありがとうございました。</p> |
| <p>山 縣 委 員</p> | <p>世界遺産を継承していくこと、これは非常に大事な事です。それに加えて、いわゆる精神性とかあるいは心身の基柱というものです、やはりこの時代から出てきたものは大きいと思うんです。小中高の教育の中にも、こういうものを取り入れて、やはりそういうものの精神性を受け継ぐと言いますか、そういうことを是非、授業の中に活かして欲しいなと思っています。</p> |

| | |
|---------|---|
| 宮 部 委 員 | <p>先日、シンポジウムに行かせていただきまして感じたことを。 今と全く一緒だと思ったんですけども、グローバル教育・キャリア教育、まあ留学をして学を身に付けて帰ってきて、それをいかに実務として「ものづくり」にしたかという話がよく分かりました。 まさに150年前も今も全く同じ流れがあり、大事なことはそうなんだなど。今からも一生懸命やらなければいけない事ですが、やっぱりそういうことをしてほしいなという感じを受けました。中身のあるシンポジウムでした。</p> |
| 教 育 長 | <p>ありがとうございます。はい、どうぞ。</p> |
| 中 田 委 員 | <p>私もシンポジウムに参加させていただきまして、今ちょうど「花燃ゆ」で当時の吉田松陰、そしてその妹のドラマをやっているんですけども、あの中でも、中心的なのは男の久坂玄瑞とか高杉晋作たちの動きで、どちらかというとな政治的な動きがドラマの中心に据えられていると思うんですね。 ですが、あのシンポジウムで壇上におられた何人かの人たちの意見を聞いておきますと、そういう政治的な動きはどうしても目立つんですけども、その基礎には経済という観点が吉田松陰の遺したものの中にも随分入っているということを知りまして、私もそんな感じで何かあるんじゃないかなと思ってたんです。それで調べてみるとそういう研究があるんですね。山口大学が地元にある大学でもあるので、経済の観点からどういうふうこれを解釈するのかというようなことで、貢献できないかなあというように今思っているんですね。できれば経済学部の中に、こういう吉田松陰とか名前をどうするかは別にしても、こういう時代の経済に関する観点ですね、そこから幕末を見るような領域ですね、こういうものをひとつ研究して作ったらおもしろいんじゃないかなと今思っているんです。以上です。</p> |
| 岡 野 委 員 | <p>今、中田先生が経済の観点と言われましたけども、私が言いたいのは家庭教育の観点を感じるのですけれども、やはりあれだけの維新志士たちが萩から生まれて育ったのには、それを育てた家庭教育というか女性たちの力が大であるというところを私は花燃ゆを見てみなさんに感じて頂きたいなと思います。 やはりこうして皆さん男性の方がたくさんいらっしゃいます。皆さんにはどんな母親がいらっしゃいましょうと、素晴らしい家庭があるからこそ今こうしていらっしゃるんですから、人材育成ということはやはり家庭教育っていうものが基礎にあると思いますから、そういったことも誇りを持って家庭教育を教育委員会にやってもらったら、そういった中に踏み込んでいただくことが、そういったものにちょっと新しい視点を変えていくと面白いことがまたできるんじゃないかなと思います。</p> |
| 教 育 長 | <p>はい、ありがとうございます。</p> |
| 石 本 委 員 | <p>私は小学校から中学校の子どもがいるんですけども、その子たちの修学旅行とか社会科見学とか、まだ萩の方に行ったことはないのですけれども、そういうものにちょっと学校などに声かけをして、コースの検討をされているのでしょうか。入ってくると嬉しいなと思ひまして。</p> |
| 義務教育課長 | <p>今、委員おっしゃいましたけれども、実際に萩市を修学旅行のコースとか社会見学のコースに入れている学校がございます。特に、萩の城下町とか松下村塾、松陰神社あたりがコースとして大変人気があるところ</p> |

| | |
|---------|---|
| | <p>でございます。</p> <p>今回、世界遺産に登録されたことをきっかけに、まさしく高い志をもって未来に向かって挑戦し続ける人を生み出した山口県の歴史について興味を持って学習するような、そういった場を各学校で考えて工夫して提供していけたらと考えています。</p> |
| 石 本 委 員 | <p>下関なのでちょっと距離があるのですが、少し時間かかっても行く価値のあるところだと思いますので、是非お願いできたらと思います。</p> |
| 教 育 長 | <p>ありがとうございます。はい、どうぞ。</p> |
| 岡 野 委 員 | <p>シンポジウムで道迫さんが言われてましたよね。世界遺産は萩だけがもらったんじゃないよ、日本人にとって8県でももらったんだから、その事をみんなが認識しないといけないと。その中の一部だということを私たちも認識したうえで、その世界遺産登録を喜ばなければいけないのかなあと、ちょっとその時に感じました。世界遺産ツアーなんかをユネスコの関係者はそれをやったほうが面白いんじゃないかなと思いました。</p> |
| 教 育 長 | <p>はい、ありがとうございます。それでは、この件につきましては報告のとおり承りたいと思います。</p> <p>最後に、次回以降の教育委員会会議の日程につきまして、教育政策課のほうからお願いします。</p> |
| 教育政策課長 | <p>それでは、8月の定例会議は8月20日の午後2時から、9月につきましては17日木曜日の午後2時から、また10月には移動教育委員会会議としまして長門での会議を予定しております。10月28日水曜日を予定させていただいております。</p> |
| 教 育 長 | <p>はい、よろしいですか。</p> <p>それでは以上で7月の教育委員会会議を終わります。どうもありがとうございました。</p> |